

# 日商簿記 1 級&全経上級ダウンロード講座 商会 No.18【本支店会計】

収録日：平成 25 年 9 月 4 日

## 【出題実績】

日商簿記 1 級過去問 99 回、105 回（在外支店）、110 回  
全経簿記上級過去問 168 回

	検定簿記講義(商簿)	サク	スッキリ	教科書
ページ数	12	39	30	
直送処理	△×	◎	◎	
支店分散計算精度	×	◎	◎	
内部利益控除				
本支店合併財務諸表	×	◎	◎	
帳簿の締切				

◎説明あり、例題あり ○説明あり、例題弱い、△説明弱い、例題あり、×説明弱い、例題弱い  
（「弱い」は「ない」を含みます）

在外支店は外貨換算で解説しますので、この章では割愛しています

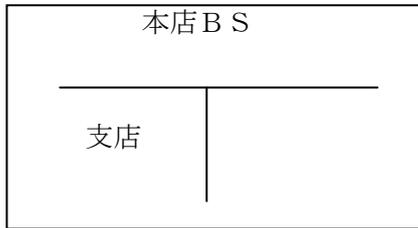
本支店会計は日商 1 級では、110 回以来出題されていません。また過去に日商 1 級論点であった内容が最近では 2 級で出題されている事から、日商 1 級では在外支店以外は出しにくい状況にあると思います。

全経上級では、168 回で出題されて驚かせました。

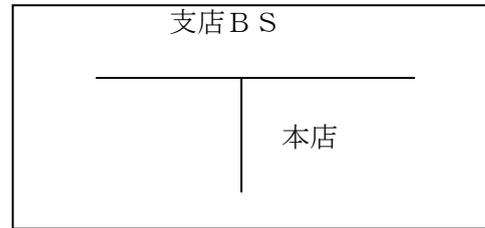
しかし内容は日商 2 級の問題よりも簡単な問題でした。

テーマ：本質を理解しよう

## 本支店会計



本店が支店に投資したと考える  
(支配目的で株を買った感じ)



本店からの出資を受けたと考える  
(子会社化された感じ)

### 日商1級論点の解説

#### <直送処理1>

大阪支店は、本来本店から仕入れているPCを、直接本店の仕入先から100,000円で掛けで仕入れた。なお、本店は支店へ商品を発送する際に、原価に10%の利益を付加している。

<本店側の処理>

仕入 100,000 / 買掛金 100,000

支店 110,000 / 支店へ売上 110,000

<支店側の処理>

本店より仕入 110,000 / 本店 110,000

#### <直送処理2>

本店が大阪支店の得意先に原価100,000円のPCを150,000円で販売した。なお、本店は支店へ商品を発送する際に、原価に10%の利益を付加している。

<本店側の処理>

支店 110,000 / 支店へ売上 110,000

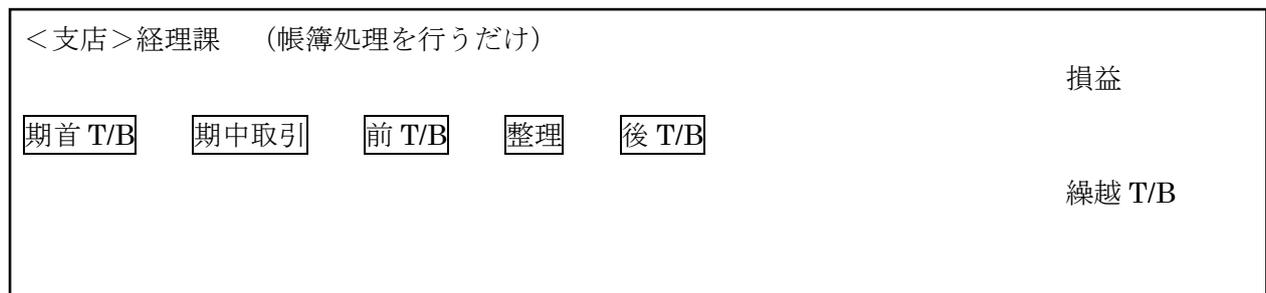
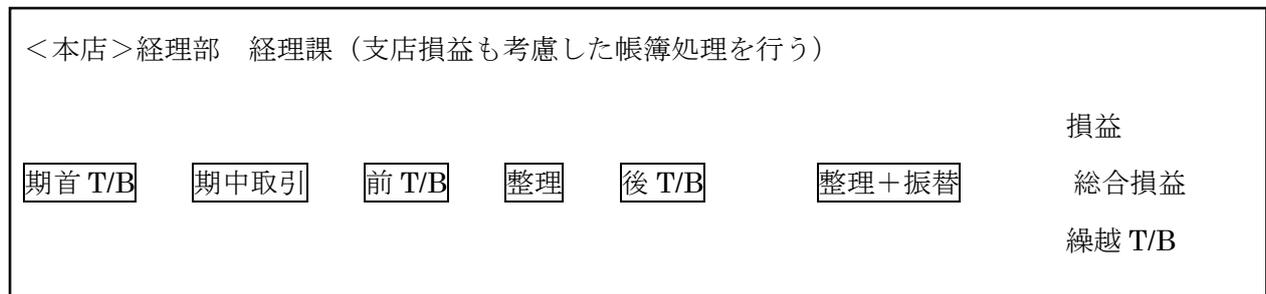
<支店側の処理>

本店より仕入 110,000 / 本店 110,000

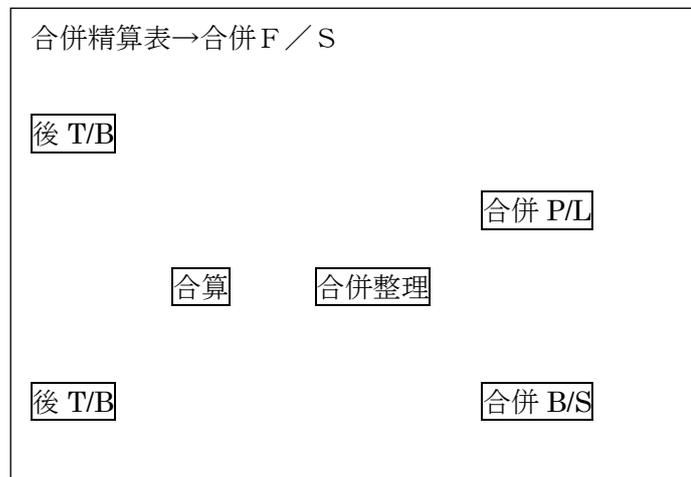
売掛金 150,000 / 売上 150,000

## 本支店会計の正しい理解

下記の流れをしっかりと把握しておこう



<本店>経理部（外部報告チーム）経理課からもらった後 T/B を Excel で加工する



まずは全経上級 168 回の問題を利用して、本支店会計の内容を理解しよう

<注意事項>

未達取引の（3）

支店が処理していた内容

（誤） 営業費 40,000 / 未払金 40,000

（正） 営業費 40,000 / 本店 40,000

（修正仕訳） 未払金 40,000 / 本店 40,000

未達商品の決算振替

繰商 165,000 / 仕入 165,000

（ここで本店より仕入 a/c を使わない。支店へ売上と相殺できなくなる）

ダウンロード講座では、次の問題を解説します。

(1) 残高試算表

平成 24 年 3 月 31 日

借 方	本 店	支 店	貸 方	本 店	支 店
現金預金	1,744,000	152,000	支払手形	1,038,000	130,000
受取手形	1,300,000	250,000	買掛金	914,000	102,000
売掛金	800,000	700,000	借入金	300,000	0
繰越商品	1,975,000	1,100,000	未払金	65,000	20,000
仮払法人税等	160,000	0	建物減価償却累計額	540,000	225,000
建物	1,500,000	500,000	備品減価償却累計額	315,000	81,000
備品	750,000	150,000	貸倒引当金	36,000	12,000
支店	1,672,000		繰延内部利益	45,000	
仕入	11,280,000	1,790,000	本店		1,375,000
本店仕入		4,216,000	資本金	3,000,000	
給料	341,000	194,000	利益準備金	500,000	
広告宣伝費	618,000	285,000	繰越利益剰余金	1,455,000	
通信費	132,000	16,000	任意積立金	500,000	
支払利息	27,000	0	売上	9,021,000	7,336,000
			支店向売上	4,400,000	
			受取手数料	170,000	72,000
	22,299,000	9,353,000		22,299,000	9,353,000

(2) 未達事項

- ① 本店が支店へ発送した商品¥184,000 が支店に未達。
- ② 支店で回収した本店の売掛金¥80,000 についての通知が本店に未達。
- ③ 支店で決済した本店の買掛金¥181,000 についての通知が本店に未達。
- ④ 本店で受け取った支店の手数料¥15,000 についての通知が支店に未達。
- ⑤ 本店で支払った支店の広告宣伝費¥27,000 の通知が支店に未達。

(3) 決算整理事項等

- ① 期末商品棚卸高(未達分は含まれていない)  
本店：¥1,210,000 支店：¥986,000(本店よりの仕入分¥598,000 が含まれている)。
- ② 売上債権に対して、差額補充法により 5%の貸倒引当金を設定する。
- ③ 本支店ともに建物および備品に対して定額法で減価償却を行う。  
耐用年数は建物 25 年、備品 10 年とし、残存価額はともに取得原価の 10%とする
- ④ 広告宣伝費の未払額が本店には¥94,000、支店には¥26,000 ある。
- ⑤ 受取手数料の未収額が本店には¥40,000、支店には¥8,000 ある。
- ⑥ 支払利息の前払額が本店に¥3,000 ある。

(4) その他

- ① 本店は支店に商品を発送する際、原価に 15%の内部利益を付加している。
- ⑦ 税率は 40%とし、法人税等の計上も行うこと。

		[支店]	
未達事項：			
① 本店仕入	184,000	/ 本店	184,000
④ 本店	15,000	/ 受取手数料	15,000
⑤ 広告宣伝費	27,000	/ 本店	27,000

		[支店]	
決算整理：			
① 仕入	1,100,000	/ 繰越商品	1,100,000
繰越商品	1,170,000	/ 仕入	1,170,000
② 貸倒引当金繰入	35,500	/ 貸倒引当金	35,500
③ 減価償却費	31,500	/ 建物減価償却累計額	18,000
		/ 備品減価償却累計額	13,500
④ 広告宣伝費	26,000	/ 未払広告宣伝費	26,000
⑤ 未収手数料	,000	/ 受取手数料	8,000

		損益	
仕入	1,720,000	売上	7,336,000
本店仕入	4,400,000	受取手数料	95,000
給料	194,000		
広告宣伝費	338,000		
通信費	16,000		
貸倒引当金繰入	35,500		
減価償却費	31,500		
損益	696,000	/ 本店	696,000

		[本店]	
未達事項：			
② 支店	80,000	/ 売掛金	80,000
③ 買掛金	181,000	/ 支店	181,000

		[本店]	
決算整理：			
① 仕入	1,975,000	/ 繰越商品	1,975,000
繰越商品	1,210,000	/ 仕入	1,210,000
② 貸倒引当金繰入	65,000	/ 貸倒引当金	65,000
③ 減価償却費	121,500	/ 建物減価償却累計額	54,000
		/ 備品減価償却累計額	67,500
④ 広告宣伝費	94,000	/ 未払広告宣伝費	94,000
⑤ 未収手数料	40,000	/ 受取手数料	40,000
⑥ 前払利息	3,000	/ 支払利息	3,000

		損益	
仕入	12,045,000	売上	9,021,000
給料	341,000	支店向売上	4,400,000
広告宣伝費	712,000	受取手数料	210,000
通信費	132,000		
貸倒引当金繰入	65,000		
減価償却費	121,500		
支払利息	24,000		
損益	190,500	/ 総合損益	190,500
支店	696,000	/ 総合損益	696,000
繰延内部利益	45,000	/ 繰延内部利益戻入	45,000
繰延内部利益戻入	45,000	/ 総合損益	45,000
内部利益控除	102,000	/ 繰延内部利益	102,000
総合損益	102,000	/ 内部利益控除	102,000

		総合損益	
内部利益控除	102,000	損益(本)	190,500
		損益(支)	696,000
		内部利益戻入	45,000
法人税等	331,800	仮払法人税等	160,000
		未払法人税等	171,800
総合損益	331,800	/ 法人税等	331,800